

2021で「最優秀賞」を受賞
最優秀賞は通算25回目、世界最多の受賞回数を更新

堤 氏

A 3D AFM image showing the surface morphology of a polymer. The image is presented in a perspective view with a grid overlay. A scale bar in the bottom right corner indicates 100 μm. Several white arrows point to specific features on the surface, likely the defects mentioned in the text.

●多光子顕微鏡により観察したメルケル細胞と神経線維

ロレアル

た。

この技術を使
って作成した化
粧品処方は、軽
いテクスチャー
で、汗や水にも
強い均一で滑ら

REAL

ARCH
OVATION

は摩擦やひっか
きによって傷が
ついても自己修
復する機能があ
る。この技術を
応用すること
により、紫外線に

かな膜を皮膚の上で作ることができ、かつ色材が衣服やマスクへの色移りを抑えることができる。また、この膜化を目指す。

**L'O
RESEARCH
& INNOVATION**

対する効果が持続するサンスクリーン製品や色移りのないメイクアップ製品の早期具現化を目指す。

天真堂
 薬用化粧品・
 グローバル仲
 全

天真堂

藥用化粧品・
機能性表示食品

菅 氏

Particle、ポリイオンコンプレックス（松崎淳社長は、2009年より同一グループ会社として連携を築いてきたグローバル伸和製薬

（岩手県八幡平市松尾寄木、伊藤出代表取締役）の
松崎 社

松崎社長

二次流通での化粧品購入実態を調査

9割がサンプルやテスターを試してから購入したいと回答

アイスタイルは、化粧品・二次流通市場がもたらす一次流通市場への影響を明らかにすべく、化粧品・二次流通市場に関する実態調査を行った。また併せて、その背景にある化粧品購入における生活者心理や、二次流通市場において新型コロナウイルスが生活者に与えた影響などを紐解くため、18〜69歳の女性1万3800名を対象に、二次流通での化粧品購入に関するアンケート調査を実施した。

化粧品購入時は「サンプルやテスターを試してから購入したい」という問いに対して、約9割が「そう思う／ややそう思う」と答え、テスターやサンプルの使用と、化粧品購入の関係について聴取したところ、9割が「事前にテスターやサンプルで試すことができず、購入を躊躇したことがある」と回答した。

また、事前にテスターやサンプルなどで試すことができず、購入を躊躇したことが高かった。フリマアプリやオークションサイトなど二次流通での購入経験があるか聴取したところ、5割強があると回答、うち5割強が化粧品の購入経験があると回答した。

二次流通で化粧品を購入する理由として、最も多かったのは「少しでも安く買いたいから」であり、次いで「その化粧品の試したいから」が挙げられた。

さらに、二次流通で化粧品の試し買いた

このある人のうち7割強が「二次流通での試し買い」後、正規販売ルート（一次流通）でリピート購入をしたことがある」と回答した。

二次流通で化粧品を「試し買い」する理由を尋ねたところ、「店に行く手間を省ける」「店頭に行くのが面倒」「買わないといけない雰囲気になるから」等、店に行くまでの時間やサンプルをもらうために接客を受け

④cosmeにおける

時間、心理的なハー
 ドルの高さなどを挙げ
 る声が多くみられた。
 さらに、「使っている
 スキンケアや下地との
 相性を確認でき
 るから」と
 いった、自身
 との相性だけ
 でなく、手持
 ちの化粧品と
 の相性を確か
 めたいと言う
 意見も挙がっ
 た。

一方、新型
 コロナ終息後
 も店頭でテス
 ターを使うこ
 とへの躊躇は
 続くという回

答が多くみられた。特
 にメイクアップ、ベ
 スメーカーの比率が高
 く、スキンケアにおい
 ても「終息後も躊躇す
 ると思う」との回答が
 5割を超えた。このこ
 とから、商品購入前に
 事前に試したいニーズ
 を満たす「試し買い」
 は、一時的なものでは
 なく今後も続いていく
 ことが予想される。購
 入前の体験機会提供
 は、今後も、商品が生
 活者に広く支持される
 ための力を握る取り
 組みといえ、そうした
 ニーズに応える新たな
 サービス開発の余地は
 ありそうだ。

吸収分割により承継した。今回の吸収分割により、プロテインをはじめとした健康食品の製造販売を主力とするグローバル伸和製薬の事業所は、新たに天真堂の「岩手八幡平工場」として製造機能を担う。

天真堂では、多様化する市場ニーズとクライアント企業の事業戦略に沿った企画・開発・製造機能を強化し、さらなる企業価値の向上と事業発展を目指す。

なお、これまでグローバル伸和製薬が運営してきた自社通販のECサイト、ECモールについても、天真堂が引継ぎ運営

2025